

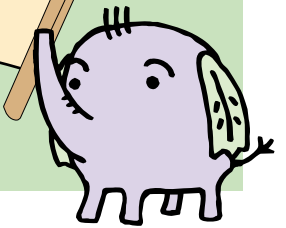
へらすぞう



げん人くん

第9号 2008年3月

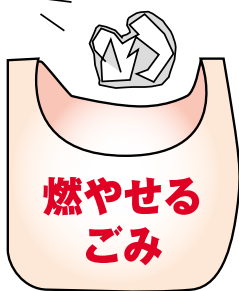
へらすゾウ



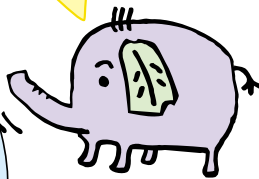
あきる野ごみ会議は、市民・事業者・市の3者が協力して活動している団体です。

特集 ゴみのゆくえ

ほくはダンボール方式をやっているのでもみは
ないよ!



ペットボトルは資源だよ。
キャップは、はずそう!



資源

雑誌
新聞など



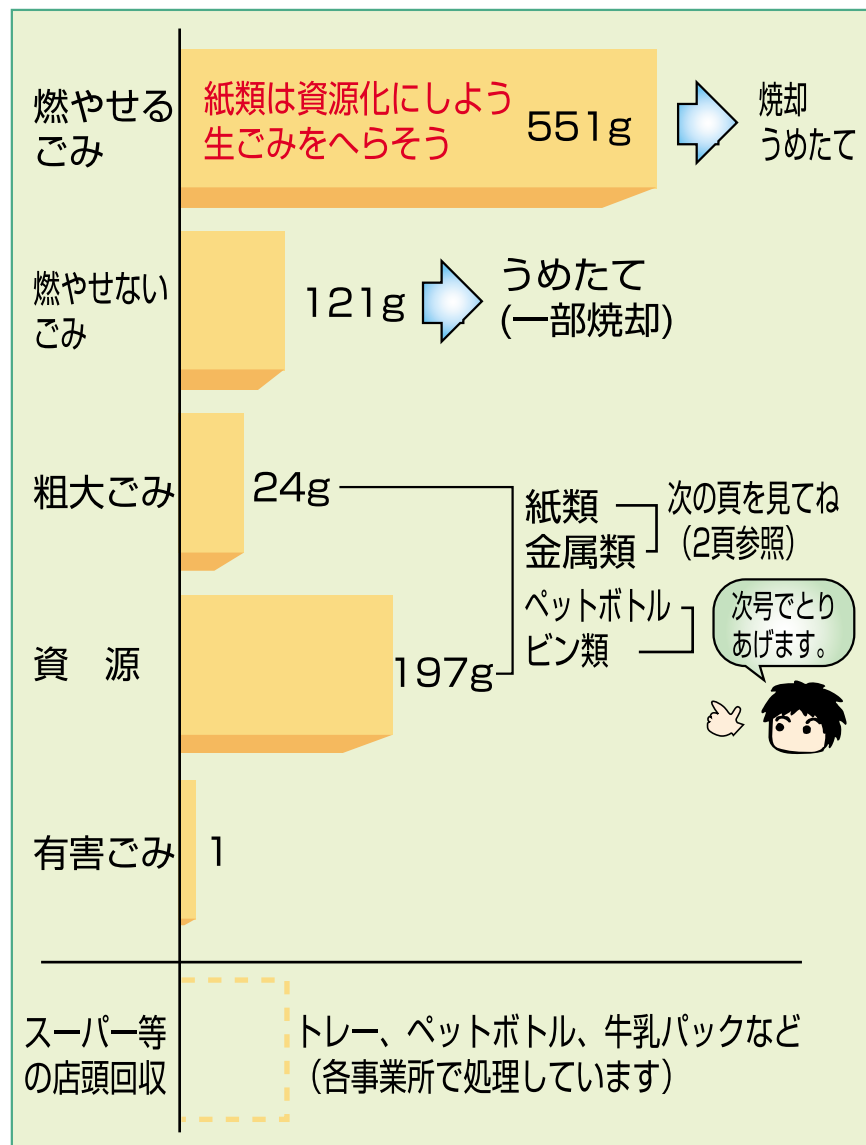
平成18年度

あきる野市のごみ資源発生量

1日72.3トン

人口(10月1日現在) 80,841人

= 1人当り発生量
894グラム



ごみのゆくえ(資源)

今回は古紙・鉄類を取り上げました

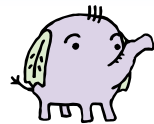
西秋川衛生組合から運ばれてきたよ



製紙メーカー
感熱紙(ツルツルしたファックス紙、レシート)などはいれないでね
詳しくはごみの出し方(保存版)P5を見てね
へらすぞう第3号、第6号にも載っているよ



西秋川衛生組合
(高尾清掃センター)

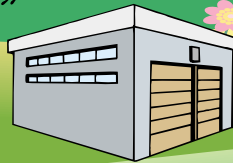
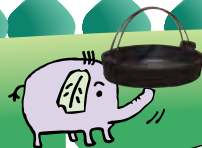


プレス機にかけてベイラーという固まりにするんだね

シュレッダーにかけ粉砕され不純物が取り除かれるんだよ



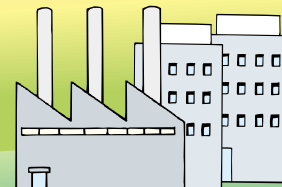
資源(鉄) ... 粗大ごみの鉄



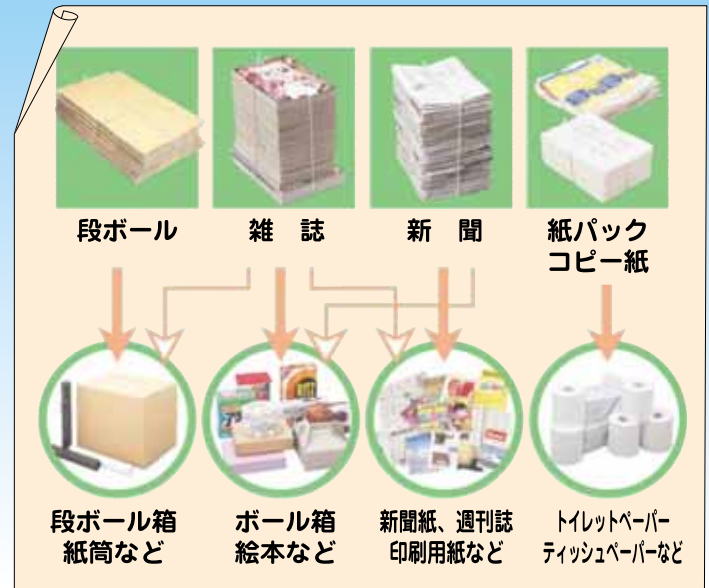
鉄スクラップ問屋



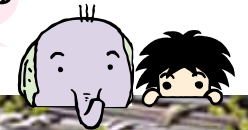
JIS規格にあった鉄の原料になったよ



製鉄(電炉)メーカー



鉄筋に加工される需要が一番多いんだって



ごめんください

豊島 直哉君一通学往復時、ごみを3年間拾い続けた高校生

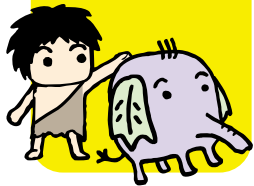


ある高校生が毎日、駅から高校まで往復の道すがら、ごみ拾いをしている、と聞いてお会いしました。秋留台高校3年の豊島直哉君です。今春、卒業です。3年間休むことなくごみ拾いをしたといいます。何故、それを始めたのが、続けられたのかを尋ねました。



Q1

きっかけは？



中学校時代、部活の友人がアトピーがひどくて学校に行けないことを知り、授業ノートなどを毎日、帰りに届けていました。学校でのことを知りたいだろうな、と思ったからです。結局、3年間続けました。彼にも喜ばれたし、自分自身、続けられたことが嬉しかった。このことがあって、高校に入学しても、3年間、何か続けたいと思っていました。そこへ、入学当初の全校集会で、ごみを捨てる生徒も多いことを聞き、ごみ拾いをやろうと思い立ちました。学校の行き帰りなら、特別なことをするわけではないので、やれると思いました。



実際のやりかたは？

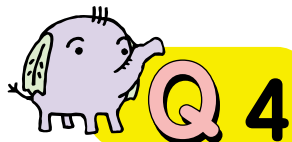


担任の先生に相談して、通学路の途中の公民館でボランティア袋をもらえるようになりました。行きに拾ったごみは学校に置き、帰りのごみは、駅近くの駄菓子屋さんに入れてもらっています。



3年間で、嫌だと思ったことは？

辛いことはなかったが、精神的に「しんどい」と思ったことはあります。励ましになったのは、2年からのクラスの友達が、僕のやっていることを素直に、普通のこととして、認めてくれたことです。



3年間つづけて、通学路の様子は？

高校1年の時、1週間、グループ単位で通学路のごみ拾いをする行事があります。それも経験していましたが、拾っても翌日には、またごみだらけになっていました。

はじめは、2日で2袋（燃えるごみ、燃えないごみ）一杯になっていたのが、今では2週間に1袋で、全く違います。

豊島君は、将来、お父様のように、消防士になりたいそうです。中学、高校と、各々3年間、自分のやろうとしたことを続けられたのも、お父様の影響もあったのかもしれない。消防の仕事への姿勢を通して、直哉君に大きなものを伝えられたのではないのでしょうか。（M.T）



編・集・後・記

豊島君の話を知って、こんな若者もいるのだと、改めて若者を見直しました。（私だけでなく、公民館の窓口の方も感心していました。）環境問題は深刻ですが、日本の将来にも希望が持てるというものです。

豊島君に限らず、日本のあちこちで、私たちの目にはふれない所で、大切なことを、地道にコツコツやっている方たちがいて、今の世の中が何とか維持できているのかもしれない。

こんなことを考えると、私も、自分のできることを、その時その時、誠実にやりたいなぁ、と思うのです。（M. T）

～テープ類の出し方のおしらせ～

有害ごみの日に収集



ビデオテープは10本までをひと束にして！

カセットテープ等、小さいものは有害ごみ袋へ

